

多賀町 町制60周年記念イベント in あげぼのパーク多賀 2015 11/7 (土)



「多賀町町制60周年記念イベントinあげぼのパーク多賀」は11時に久保町長の開会挨拶から始まりました。



第1部はアミンチュプロジェクトプレゼンツ!の館内リアル推理ゲーム「発掘探偵」です。館内のどこかに眠るアケボノゾウの秘密を探りました。



「化石マンからの脅迫状」が届いて、ナゾ解きスタートです。



① 多賀町立博物館の常設展示室の中でアケボノゾウの秘密を探しました!

野洲のおっさんとコアラGも来てくれました!

館内は大賑わい!!



② アケボノゾウの産状ジオラマ前に置かれた箱の中の骨はどの部分の骨でしょう?

③ 謎の答えがわかったら、答え合わせをして化石マンとあっちむいてほしい!!



④ 化石マンに勝ったら暗号カードをもらって、最後の答えを推理。正解すると、記念品の入ったガチャガチャが回せました!

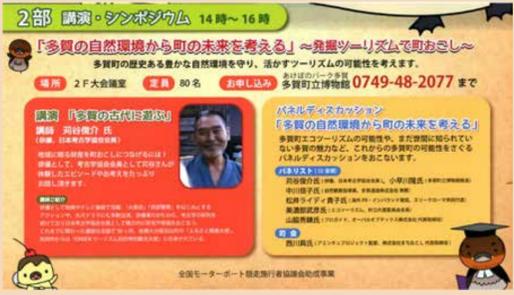
12時には謎解きの答え合わせ! 結末は...?



あげぼのカフェにもぎわいました。



10月27日からの「私たちのまち紹介します展」は、ホールでイベントが行われたため2か所にわかれて展示されました。小会議室前には多賀町古代ゾウ発掘プロジェクトの発掘風景の大きな写真も置かれました。



午後2時からの講演・シンポジウム「多賀の自然環境から町の未来を考える～発掘ツーリズムで町おこし～」にもたくさんの方が参加してくださいました。



久保町長の挨拶



会場にはパネリストの紹介写真や「多賀発掘ツーリズム」モニター会の様子も展示しました。



俳優・日本考古学協会会員の荻谷俊介氏の講演「多賀の古代に遊ぶ」多賀の自然環境や文化を生かした町おこしのヒントやアケボノゾウ発掘・発掘調査を発信することの重要性などを基調にお話いただき、非常に熱のある講演会となりました。



パネルディスカッション「多賀の自然環境から町の未来を考える」6人のパネリストの方と司会の7人で先進的な取り組みの紹介や、情報発信の大切さなどを議論しました。多賀の自然環境や文化的なものの発掘を含めて、日本全国・世界に発信することで多賀町の活性化をしていこうという空気になり、とても盛り上がりました。



環境保全促進助成事業「アケボノゾウからたどる今とむかしの環境」の講演・シンポジウムを一時的な盛り上がりで終わらずに、今後も取り組みを続け、発信していきたいと思ひます。(全国モーターポート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました)